

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	生活課題に対応した学習充実事業			会計	款	項目	大	小	
				01	10	05	06	05	
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	公民館					
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もがができる生涯学習の推進	主管課長	中西 直人					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	健康、安全などの生活課題に係る講座に参加を希望する市民	意図	健康、安全、男女の自立など生活課題に応じた学習機会を提供。
事業内容	パソコンで確定申告、そば打ち体験、食育講座等を実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	未婚率の上昇、女性の就業率の上昇、勤労世代の勤務形態の多様化等により、生活スタイルも多様化しているため、テーマとなる生活課題も幅広くなっている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	講座開催回数	17	8	7	
②	講座受講者数	393	225	243	人	↑↑↑	
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果	<p>目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施した各講座については、応募者が定員を超える人気であったため、内容は適切であったと考える。 ・例年実施している「パソコンで確定申告教室」や「そば打ち体験」の他、幼児期に大切な「食育」について学ぶ「幼児のための食育講座」を実施した。 ・NPO法人星空ファクトリーと共催で、「キッズサイエンスデー」を実施。夜の部において大気環境を考える星空教室を実施し、多くの来場者があった。 						
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		4,379,504	4,242,987	5,322,121			
事業費(b)(円)		187,304	96,987	88,321			
うち一般財源		187,304	96,987	88,321			
職員給与費(c)(円)		4,192,200	4,146,000	5,233,800			
人役・職員(人)		0.60	0.60	0.60			
人役・再任用(人)				0.30			
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	市民の多様な生活スタイルの中から、市民がより必要と考える生活課題を拾い出し、新たな講座を実施する。	③取組の課題	・市内在住講師（人材）の更なる活用 ・講座のテーマに合った講師の発掘
②今年度(H27)に実施した取組	・松戸税務署との連携による「パソコンで確定申告」を実施。 ・キッズサイエンスデー夜の部において、大気環境を考える星空教室を実施。	④今後の改善計画	市民の多様な生活スタイルの中から、市民がより必要と考える生活課題を拾い出し、新たな講座を実施する。